

施設概要

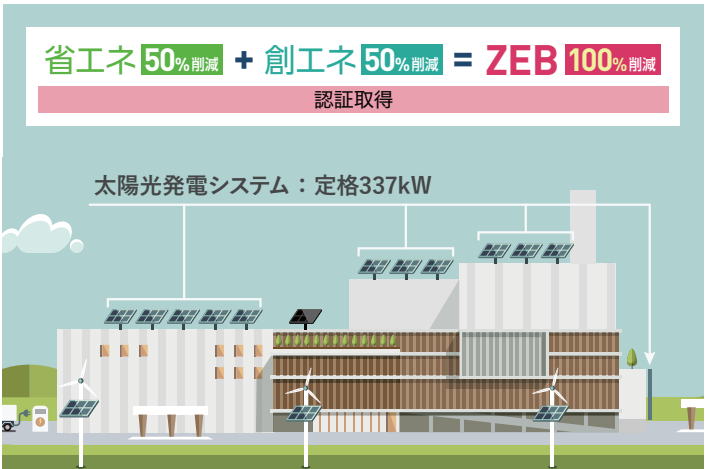


施設名	排ガス基準値（O ₂ 12%換算）	
明石市新ごみ処理施設	ばいじん	0.01g/miN 以下
建設地	塩化水素(HCl)	30ppm 以下
明石市 大久保町松陰 1131 番地 ほか	硫黄酸化物(SO _x)	20ppm 以下
敷地面積	窒素酸化物(NO _x)	50ppm 以下
約 25.32ha（うち施設配置範囲は約 1.477ha）	ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m³N 以下
施設規模	一酸化炭素	30ppm 以下(4時間平均値) 100ppm 以下(1時間平均値)
(1) 焼却施設	水銀	30μg/m³N 以下
ストーカ式焼却炉（アドバンスストーカ式）：276t/24h（138/24h×2 炉） 排ガス処理方式：無触媒脱硝＋ろ過式集じん器	事業者構成	
(2) 資源リサイクル施設	(1) 代表企業	川崎重工業(株) 神戸工場
①破砕系：25t/5h ②資源系 缶・びん・ペットボトル：16t/5h ③資源系 プラスチック類：14t/5h	(2) 構成企業	村本建設(株) 神戸営業所 カワサキグリーンテック(株) 明石営業所 (株)TMC
事業期間		
整備期間：2026 年 7 月～2031 年 7 月 末（5 年 1 ヶ月）※付帯工事以外は 2031 年 3 月末まで 運営期間：2031 年 4 月～2051 年 3 月 末（20 年間）		

施設整備スケジュール

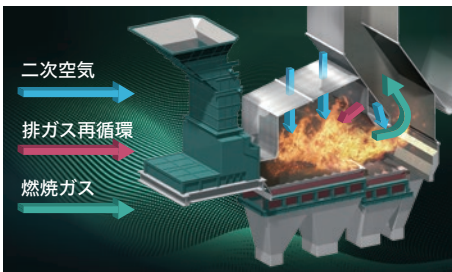
年度	令和 8 年度（2026）	令和 9 年度（2027）	令和 10 年度（2028）	令和 11 年度（2029）	令和 12 年度（2030）	令和 13 年度（2031）
月	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
マイルストーン	契約	準備工事着工	土木建築工事着工	プラント工事着工	受電・試運転	運転開始 竣工
実施設計	〇	〇				
準備工事		〇	〇			
土木建築工事		〇	〇	〇	〇	〇
プラント工事			〇	〇	〇	〇
試運転					〇	〇
付帯工事						〇

Ⅰ. 環境保全に配慮し地球温暖化対策に貢献する施設



- エネルギー回収率向上及び余剰電力量最大化
 - ▶熱回収能力の強化、蒸気の効率的利用に加え、発電システムでは 6.0 MPa×450 °C高温高压ボイラを採用し、エネルギー回収率 26.5%、余剰電力約 46,500 MWh/ 年以上を実現
- 省エネと創エネによる消費電力量の削減
 - ▶【省エネ】空調・照明の高効率化や断熱強化により、居室エリアの基準一次エネルギー消費量を 50%削減
 - ▶【創エネ】屋根と壁面を活用した定格 337kW の太陽光発電システムにより基準一次エネルギー消費量を 50% 削減
 - ▶省エネ・創エネ効果を合わせ、消費量削減率 100% を達成する最高水準の ZEB 認証を取得

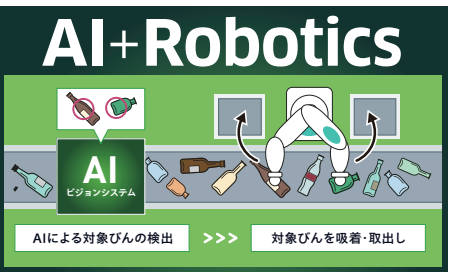
Ⅱ. 安全・安心・安定的な処理が確保できる施設



- 焼却炉の安定稼働
 - ▶並行流焼却炉で安定燃焼を実現
 - ▶ごみピット均質化システムで焼却炉投入時のごみ質の変動を抑制
 - ▶Smart-ACC®、AI 運転支援システムを連動させることでごみ質変動へ対応し、安定した運転管理を継続



- 焼却施設の遠隔監視
 - ▶現地を 24 時間体制で遠隔監視
 - ▶薬品や電気等の使用量、原単位を他年度や他施設と比較・監視することで最適な運転条件を抽出し、運転改善アドバイスを実施
 - ▶燃焼調整等の操炉も遠隔で対応可能



- リサイクル施設の安定稼働
 - ▶安定稼働と労働人口の減少対策を両立するため、びんの選別作業に AI 搭載ピッキングロボットと人協働ロボット、サークルコンベヤを導入
 - ▶機械と人の協働による高精度選別を実現し、リサイクル率を向上

Ⅲ. 災害廃棄物処理への対応ができる施設



- 災害廃棄物等の受入計画
 - ▶災害後に運び込まれるごみに応じた段階的な受入により、迅速かつ適切な処理を実施
- 災害時の体制と対応
 - ▶ユーティリティや備蓄の確保、人的・物的・工事支援により、施設の運転を継続

Ⅳ. 経済性・効率性に優れた施設

- 施設の長寿命化設計と維持管理の効率向上
 - ▶耐摩耗性や耐食性等に優れた材質と構造の最適化で施設を延命化し、施設保全管理プログラムで効率的管理を実現

Ⅴ. その他の提案



- 様々な視点から学ぶ環境学習
 - ▶見学エリアを「ごみ処理・資源リサイクル・地球環境」の 3 つのエリアに分割し、資源・環境を様々な視点から学習
- 幅広い世代へ訴求する環境啓発
 - ▶親子で楽しめる環境イベントやリサイクル品の交換会を開催し、市民のごみ減量意識の向上と施設利用を促進